

令和5年度

屋久島世界自然遺産地域等における森林生態系に関するモニタリング調査計画

【調査内容】

- 1 屋久島南部地域の垂直方向の植生モニタリング調査
- 2 高層湿原の植生状況等モニタリング調査、保全対策の実施等
- 3 著名木（夫婦杉）の樹勢診断
- 4 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

1 屋久島南部地域の垂直方向の植生モニタリング調査

屋久島南部地域の垂直方向の植生モニタリング調査を行い、調査結果を取りまとめる。また、今回と過去4回（平成15、20、25、30年度）とを比較・分析し、動態予測を行い評価する。

【屋久島垂直方向モニタリング位置（緑線）および夫婦杉調査位置（緑丸）】

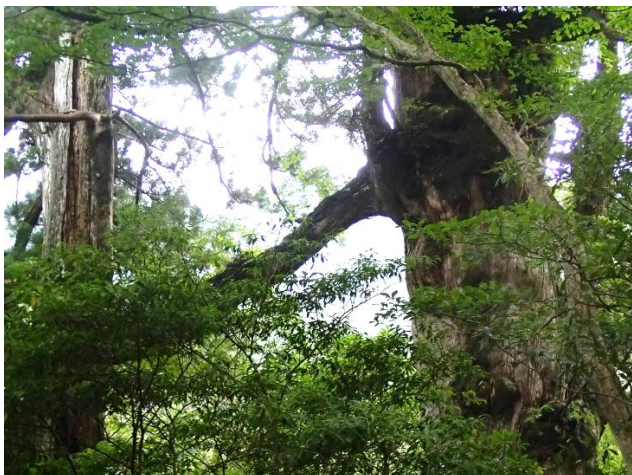


2 高層湿原の植生状況等モニタリング調査、保全対策の実施等

- (1) 小花之江河における植生保護柵内外の植生モニタリング調査
- (2) 水の収支、地下水、水温・気温、湿原地形調査及び試行的保全対策箇所の土砂・枝条等の堆積状況のモニタリングと評価
- (3) 令和4年度に作成した高層湿原保全対策に基づく保全対策の実施等

3 著名木(夫婦杉)の樹勢診断

被害発生の原因究明と今後の保護対策や改善策等を検討することを目的とし、外見上樹勢が衰えた樹木を中心に現地確認等を行い、樹木医による地上部の衰退度判定、倒木等の危険度判定等を基に総合診断を実施する。



4 森林生態系における気候変動の影響のモニタリング調査

気候変動による屋久島世界自然遺産地域への影響について、各機関のモニタリングデータの収集、気象庁アメダスによる気候変動等のデータの収集・分析等を行い、動態予測及び脆弱性の評価をする。